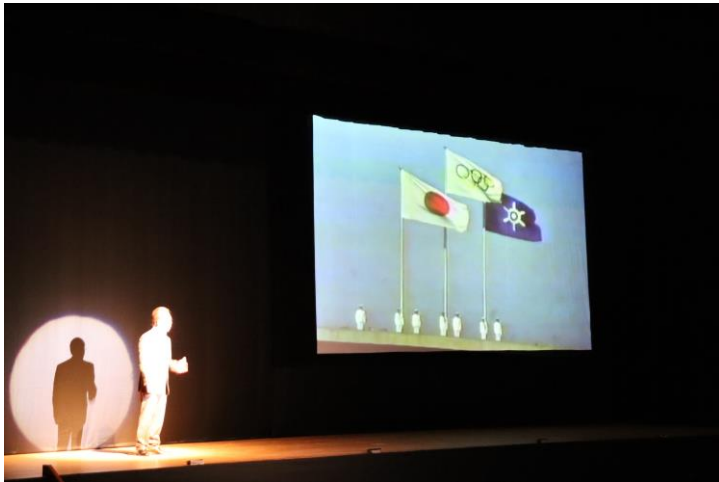




- ・本年度の芸術鑑賞会は“劇団芸優座”の皆さんによる演劇『昇らぬ朝日のあるものを ～幻のオリンピック～』でした。
- ・ソーシャルディスタンスを保つため、全学年を2グループに分け、講堂の座席を1席ずつ空けて着席しました。そして、同じ内容で2回公演をしていただきました。



<あらすじ>

かつて東京には幻と消えたオリンピックがあった…

舞台は、アジアで初めてオリンピックが開かれると決まった東京、沸き上がる興奮が一段落した頃。選手として将来を嘱望されながら、酒が原因で居場所をなくした男。ケガに泣き、オリンピックを諦めようとする男。オリンピックで一旗揚げようとする男。そして彼らを取り巻く女たち…

それぞれがオリンピックを目指すことで、人生を取り戻そうとするのだが、やがて…



- ・スクリーンの映像と音楽、そして役者さんたちの迫真の演技に圧倒され、引き込まれていきました。あっという間の2時間15分でした。

- ・午前の部が終了し、1年生の生徒会理事よりお礼の言葉と花束を贈りました。

「オリンピックの意義を改めて考えさせられました。」
「迫力のある演技に感動しました。ありがとうございました。」



<午後の部>





「もしも、1940年のオリンピックが開催されていたら…」
「1940年のオリンピック返上を経験した人たちの目には
1964年の東京オリンピックはどのように映ったのか…」
「そして、2020TOKYOオリンピックへと続く“オリンピック”
のレジェンドは、君たち一人ひとりの心の中にある！」

・鑑賞している客席の全員に力強く訴えて、午後の部も終演
しました。



・午後の部の終わりには、2年生の生徒会長よりお礼の言葉
と花束を贈呈しました。

感染を考慮して、お別れはグータッチ！

本当に素敵な演劇をありがとうございました。



・公演のあと、メイクを落とした役者さんたちがセット解体
の前に生徒会役員といっしょにカメラの前でポーズをとっ
てくれました。



・さらに…

セット解体の見学に来た演劇部の生徒たちとも写真撮影に
応じていただきました。

もちろん、セット解体のお手伝い（かんたんな部分）もしま
したよ。プロが作ったセットに部員も顧問も興味津々！

思わぬご褒美をいただきました。

劇団芸優座のみなさま、本当にありがとうございました。

またいつかお会いできる日を楽しみにしています。